



羽村市立栄小学校  
 学校だよりNO. 7  
 令和6年9月30日  
 校長 棗 まゆみ

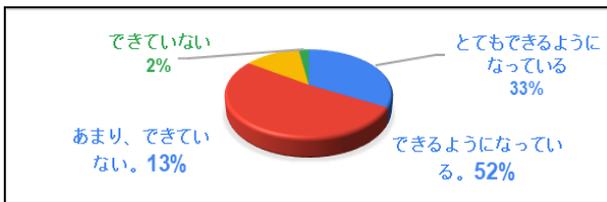
## 結果を生かして

校長 棗 まゆみ

秋らしい日が増え、子供たちが外での活動を楽しめるようになってきました。19日(土)の運動会に向けて、子供たちは踊りや、走る練習を頑張っています。今年も熱中症等対策として、午前中のみの実施、児童席にテントを設置する予定です。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、一学期末に児童アンケート(中間)を実施しました。この児童アンケートは、学校評価として、教育目標の達成に向けた重点となる具体的な取組の成果を図る目的で実施しています。その中の1つを紹介します。

### 「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」



児童の肯定的な回答は85%でした。学校では、日頃から学習の進捗と家庭学習を連携させています。また、7月には家庭学習ウィークを実施し、高学年では自主学習ノートの取組をすすめています。2回目の家庭学習ウィークは、10月28日からの2週間で実施予定です。家庭学習に取り組むことを通じて、学習習慣を身に付け、記憶が新しいうちに学習内容を復習して定着率を高めてほしいと思います。取り組む時間帯や内容について、ぜひ、ご家庭で話し合ってみてください。子供自身が納得し、自分で決めて取り組むことが大切です。そして、うまくできたら、たくさんほめてあげてください。「自分で決めた→できた→うれしい→さらに頑張る」という流れができると、粘り強く取り組むこともできるようになります。学習しやすい環境づくりも、ご協力をよろしくお願いいたします。

他の項目の結果や今後に向けての対策等は、学校ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

また、令和6年度全国学力・学習状況調査結果が夏休みに学校に届きました。この調査は6年生を対象に4月に実施されました。今年度も、国語、算数の調査が行われ「知識・技能」「思考・判断・表現」を中心に調査を分析しています。全国平均と比べて正答率の低かったのは以下の問題です。

#### <国語>

「話すこと・聞くこと」

●目的や意図に応じて、日常生活から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

(平均正答率51.0%、思考・判断・表現)

「読むこと」

●登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。

(平均正答率56.9%、思考・判断・表現)

#### <算数>

「変化と関係」

●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。

(平均正答率56.9%、思考・判断・表現)

「データの活用」

●円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる。

(平均正答率68.6%、知識・技能)

#### 結果から

・国語…自分の考えと理由・事例との関係を明確にしたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりする指導を充実させていきます。

・算数…単位量あたりの大きさ、割合の意味や表し方について理解を深められるよう、指導を続けていきます。また、日常生活と照らし合わせて、求めた答えの妥当性を判断できるように指導を工夫していきます。

栄小では、結果から分かったことを授業改善・指導改善に生かし、子供たちの力を伸ばせるよう、取り組んでいきます。

ご家庭でも、ぜひ、日常生活の中にある、学びを生かせる場面での声掛けや、それにつながる会話を楽しんでみてください。